福井県の甲虫（4）

井崎市左ヱ門

甲虫類は山野にも池沼にも多くすみ、種類も多く、小形のものが特に多くて、同定には困難が伴なうが、幸にして西京大学の中根先生が同定して下されるので纒める事が出来た。ハネカクシ等の小形のものを味真野の福田久美氏が多数寄贈せられ、又西津小学校では、ヨツボシトラカミキリ、フタオビミドリトラカミキリ等。福井の下野谷豊一氏は、アイノハンミョウ、ホソハンミョウ等を採集された。その他にも尚寄贈品は、産地の次に記入して、御好意を感謝する。採集者記入なきものは筆者の採集である。和名の新称は中根先生に依る。記入の産地は、博物館所蔵のもので、他でも採集出来る。

Curculionidae　ぞうむし科（続）

433　Pseudocneorrhinus bifasciatus Roelofs　スグリゾウムシ　遠敷

434　Pseudocneorrhinus obesus Roelofs　カキゾウムシ　鬼ヵ谷

435　Pseudocneorrhinus setosus Roelofs　コナガスグリゾウリムシ　下宇坂

436　Lixus impressiventris Roelofs　カツオゾウムシ　鬼ヵ谷　遠敷

437　Lixus maculatus Roelofs　ホシカツオゾウムシ　鳩ヵ湯

438　Hylobius abietis haloldi Faust　マツアナアキゾウムシ　鬼ヵ谷　小浜（若高斎藤）

439　Hylobius freyi Zumpt　フレイアナアキゾウムシ　鬼ヵ谷

440　Larinus griceopilosus Roelofs　カツオゾウムシ　鬼ヵ谷・遠敷

441　Lepyrus japonicus Roelofs　フタキボシゾウムシ　鬼ヵ谷

442　Okikuruminus oblongus Hustache　ミヤマタマゴゾウムシ　鬼ヵ谷

443　Pissodes nitidus Roelofs　マツキボシゾウムシ　福井（坪田）・鬼ヵ谷

444　Echinocnemas squameus Billbery　イネゾウムシ　鬼ヵ谷・遠敷

445　Cryptoderma fortunei Waterhouse　オオシロオビゾウムシ　北潟（坪田）

446 Sipalus hyppocrita Boheman オオゾウムシ鳩ヵ湯
此科中大形のもので、口吻は長い。山間の葉上にても得られ、燈火にも来る。

447 Sitophilus oryzae Linné コクゾウムシ 遠敷
米、麦等の有名な害虫で、米の内部に食入りて大害を与える。

448 Aplotes roelofsi Chevrolat トホシゾウムシ 福井（土肥）・鬼ヵ谷

449 Alcidodes erro pascoe ホオジロアシナガゾウムシ 北潟（坪田）

450 Alcidodes flavosignatus Roelofs キスジアシナガゾウムシ 鳩ヵ湯 廚（林）

451 Alcidodes trifidus Pascoe オジロアシナガゾウムシ 遠敷
成虫はゴボウの茎液を吸う。

452 Gasterocerous longipes Kōno アシナガオニゾウムシ 鳩ヵ湯
足が特に長い。6～8月頃、燈火に来る。

453 Cryptorrhynchidius insidiosus Roelofs マツシラホシゾウムシ 粟野（敦高昆虫班）

454 Mechistocerus nipponicus Kōno マダラメカクシゾウムシ 鬼ヵ谷

455 Coelosterus nigrovariegatus Roelofs クロマダラクチカクシゾウムシ（新称） 粟野（敦高昆虫班）

456 Ectatorrhinus adamsi Pascoe マダラアシゾウムシ 鬼ヵ谷

457 Baris reini Roelofs シロホシヒメゾウムシ 和泉村大谷

458 Curculio quercivorus Kōno コナラシギゾウムシ 遠敷 鳩ヵ湯

459 Curculio albioscutellatus Roelofs ナツグミシギゾウムシ 織田（林）

460 Curculio camelliae Roelofs ツバキシギゾウムシ 西津（小浜中石野進）

461 Curculio dentipes Roelofs クリシギゾウムシ 織田（林）

562 Aderorrhinus crioceroides Roelofs チャイロチョッキリ 和泉村大谷

463 Rhynchites plumbeus Roelofs クチナガチョッキリ 遠敷

464 Rhynchites venustus Roelofs ハイイロチョッキリ 小浜市西津（小浜中石野進）

465 Rhynchites horos Roelofs モモチョッキリ 織田（林）

466 Byctiscus regalis Roelofs ドロハマキチョッキリ 織田（林） 遠敷

467 Byctiscus venustus Pascoe イタヤハマキチョッキリ 高椋（坪田）・鳩ヵ湯

468 Byctiscus fausti Sharp ファウストハマキチョッキリ 福井（坪田）

469 Aspidobyctiscus lacunipennis Jekel ブトウハマキチョツキリ
下根来

470 Chokkirius rosti Scnilsky シリブトチョツキリ 下根来

471 Euops splen^d^ida Voss カシルリオトシブミ
オトシブミの類は、木の葉を巻いてその中に産卵する。これは鶯の落し文と言われている。

472 Paroplapoderus pardalis snellen van Vollenhoven
ゴマダラオトシブミ 鬼カ谷 鳩カ湯

473 Phymatapoderus pavens Voss ヒナコブオトシブミ 遠敷

474 Apoderus jekeli Roelofs オトシブミ 遠敷

475 Apoderus blateatus Roelofs ウスモンオトシブミ 鳩カ湯 鬼カ谷

476 Apoderus rubidus Motschulsky ウスアカオトシブミ 鬼カ谷

477 Apoderus geminus Sharp Sharp セアカヒメオトシブミ 鬼カ谷

478 Apoderus nitens Roelofs ヒメクロオトシブミ 下根来 小浜市羽賀

479 Cycnotrachelus longicornis Roelofs ヒゲナガオトシブミ
下根来 遠敷

480 Paracentrocorynus nigricollnis Roelofs アカヒゲナガオトシブミ
羽賀 遠敷

POLPHAGA-LAMELICORNIA 鰓角類

Lucanidae くわがたむし科

この科のものは、雄は大腮は甲（かぶと）の鍬形のように大きく延びたものが多く雌は別種でも区別が困難である。同一種にても、個体の大小、大腮の長短等変化が多い。樹液に集まり、燈火にも来る。

481 Lucanus maculifemoratus Motschulsky ミヤマクワガタ 鳩カ湯
山地に発生し、大腮は大形、腿節の下面に黄褐色の長い紋があり、雌も同じ。

482 Psalidoremus inclinatus Motschulsky ノコギリクワガタ 鳩カ湯
すこし赤褐味で、牛の角の様な大腮の有る大形のものと、黒くて稍小形で鋸歯のvar mflexus Haroldと呼ばれるものと両方共捕れる。山地に出るが少い方。

483 Dorcus montivagus Lewis ヒメオオクワガタ 鳩ヵ湯

484 Dorcus hopei Sanudars オオクワガタ 鳩ヵ湯
この科中では大形のもので、山地にて得られるが稀である。

485 Macrodorcus rectus Motschulsky コクワガタ 小浜府中（若高小田）
鳩ヵ湯
山野共に多く、平地にても電燈に来る。個体の変化が多い。

486 Macrodorcus striatipennis Motschulsky スジクワガタ
味真野（坂永） 武生（武生東小）
黒色小形種で、し鞘の条刻は深い。山地で発生するが少い。

487 Eurytrachellelus platymelus Saunders ヒラタクワガタ
武生（武生東小中条） 鳩ヵ湯
山地にて捕れるが稀である。

Geotrupidae せんちこがね科

この科のものは夕方飛しょうする様である。牛馬ふんに集まる。老熟茸にも集まり燈火にも来る。幼虫は白色にして、農作物の根を食害する。

488 Bolbocerosoma nigroplagiatum Waterhouse ムネアカセンチコガネ
ムネアカダイコクとも呼ばれ、燈火に来る事があるが、本県にては稀がある。

489 Geotrupes laevistriatus Motschulsky センチコガネ
遠敷 玉子保（坪田）
黒色の普通種で、牛馬ふんにても得られ、飛しょうするものも捕れる。

490 Geotrupes auratus Motschulsky オオセンチコガネ
光沢が強くて美しい、藍色のものが捕れるが稀である。

Trogidae こぶすじこがね科

491 Trox opacotuberculatus Motschulsky ヒメコブスジコガネ
粟野（敦高昆虫班）
本県にては発生が少なく、珍らしいものの様である。

Scarabaeidae こがねむし科

492 Onthophagus nitidus Waterhouse ツヤマルエンマコガネ
味真野（坂永）
黒色小形で光沢がある。少ない方らしい。以下のマグソコガネ類は、牛馬ふんに来る

493 Onthophagus ater Waterhouse クロマルエンマコガネ 遠敷 神宮寺

494 Onthophagus viduns Harold マルエンマコガネ
丸岡（丸岡高校高橋泰雄）

495 Onthophagus atripennis Waterhouse コブマルエンマコガネ
吉崎（坪田）

496 Onthophagus lenzii Harold カドマルエンマコガネ
美浜町河原市（耳中学校）

497 Ochodaeus maculatus Waterhouse アカマダラセンチコガネ
味真野（福田）

498 Liatongus phanaeoides Westwood ツノコガネ 石徹白
牛馬ふんの中で得られるが稀である。和泉村、石徹白の山間部で捕れる。

499 Aphodius eccoptus Bates ケブカマグソコガネ 鳩ヵ湯

500 Aphodius harodians Balhasar オオマグソコガネ 味真野（坂永）

501 Aphodius uniplagitus Waterhouse オビマグソコガネ
味真野（福田久美）

502 Aphodius rectus Motuchulsky マグソコガネ 福井（土肥浩嗣）

403 Aphodius elegans Allibert オオフタホシマグソコガネ
丸岡（丸岡高杉本正之） 上根来
頭胸部は黒く、し鞘に一ケづつの黒紋がある。本県にては稀。

504 Serica boops Waterhouse ヒゲナガビロウドコガネ 鳩ヵ湯
ビロウドコガネ類は、短毛が生じて、ビロウドの様に見える。黒赤褐等色々ある。

505 Serica grisea Motschulsky ハイイロビロウドコガネ 味真野（福田）
鬼ヵ谷

506 Serica japonica Motschulsky ビロウドコガネ 小舟渡 鳩ヵ湯

507 Serica spissigrada Motschulsky オオビロウドコガネ 遠敷

508 Autocerica secreta Brenske ススイロビロウドコガネ 遠敷

509 Asericacastanea Arrow アカビロウドコガネ
小浜（若狭高斎藤） 福井（坪田）

510 Sericania fuscolineata Motschulsky クロスジチャイロコガネ
遠敷

511 Phyllopertha pubiallis Waterhouse ナラノチャイロコガネ
丸岡（丸岡高杉本）

512 Phyllopertha irregularis Waterhouse キスジコガネ 味真野
（坂永）

513 Holotrichia kiotoensis Brenske クロコガネ 鳩ヵ湯

514 Holotrichia castanea Waterhose クリイロコガネ 鳩ヵ湯

515 Polyphylla laticollis Lewis ヒゲコガネ 丸岡（丸岡高校） 遠敷
雄の触角は頗る大形。雌は短大で本県では稀の様である。

516 Heptophylla picea Motschulsky ナガチャコガネ 丸岡（丸岡高校）
鳩ヵ湯

517 Melolontha japonica Burmeister コフキコガネ 小舟渡 鬼ヵ谷

518 Melolontha frater Arrow オオコフキコガネ 小浜（小浜中山崎イクヨ）
小浜（若高長谷川）

519 Granida albolineata Motschulsky シロスジコガネ
小浜（小浜中川島男一） 永平寺

520 Aderetus tenuimaculatus Waterhouse チャイロコガネ 鳩ヵ湯
遠敷

521 Popilla japonica Newman マメコガネ 福井 鬼ヵ谷
県内到る処に多く、農作物も雑草の葉も食害する。

522 Anomala costata Hope オオスジコガネ 城崎 鳩ヵ湯
この仲間のコガネ類は、種々の農作物を食害し、6～8月頃電燈火に多数集まる。

523 Anomala testaceipes Motschulsky スジコガネ 遠敷

524 Anomala splens Gyllenhal コガネムシ 遠敷
金緑色で光沢がある。県内に多く出て電燈にも来る。

525 Anomala cuprea Hope ドウガネブイブイ 遠敷
銅褐色で発生が多い。方言をブンブンとも言う。

526 Anomala viridana Kolbe ヤマトアオドウガネ 小浜（小浜中小川）
福井（土肥）

527 Anomala alvopilosa Hope アオドウガネ 武生（丸山博己）
前種と共に青く、発生は少い。

528 Anomala daimiana Harold サクラコガネ 遠敷

529 Anomala geniculata Motschulsky ヒメサクラコガネ 遠敷 小浜
（若高長谷川）

530 Anomala rufocuprea Motschulsky ヒメコガネ 遠敷

頗る多く、大豆その他農作物に大害がある。

531 Anomala multistriata Motschulsky ハンノヒメコガネ 遠敷
福井（坪田）

532 Anomala orientalis Waterhouse セマダラコガネ 鳩ヵ湯
福井（土肥）

533 Anomala irregularis Waterhouse キスジコガネ
敦賀（敦高昆虫班） 味真野（坂永）

534 Mimela flavilabris Waterhouse ヒメスジコガネ
味真野（坂永） 勝山（下野谷）

535 Torynorrhina japonica Hope カナブン 永平寺（土肥） 鳩ヵ湯

536 Torynorrhina polita Waterhouse クロカナブン
永平寺（土肥） 大野（福井昇）

537 Torynorrhina unicolor Motschulsky アオカナブン
大野（福井昇）

538 Anthracophora rusticola Burmeister アカマダラコガネ 福井

539 Hoplia communis Waterhouse アシナガコガネ 丸岡（丸岡高校杉本栄三）

540 Hoplia moerens Waterhnuse クロアシナガコガネ 福井（下野谷）

541 Osmoderma opicum Lewis オオチャイロハナムグリ 池田冠山（坂永）
原色昆虫図鑑によれば、一生スギ、カエデ等の古木の空洞内に住み、その朽ちたものを食し、7月に成虫となり、8月産卵して死ぬ。成虫はその空洞の入口或いは内部にじゃ香ようの臭を出すと言う。本県にては、武生高校生坂永泰生君が冠山で捕えたのが初めである。

542 Lachnosterna morosa Waterhouse オオクロコガネ 武生（坂永）

543 Ectinohoplia obducta Motschulsky ヒメハナムグリ 鬼ヵ谷
ハナムグリの類は、カナブンに似た形のものが多く、各種の花上にて得られる。

544 Glycyphana fulvistemma Motschulsky クロハナムグリ
鬼ヵ谷 鳩ヵ湯

545 Glycyphana gracilis viridis Sawada ホソコハナムグリ （新称）
鬼ヵ谷

546 Cetonia pilifera Motschulsky ハナムグリ （鳩ヵ湯）

547 Cetonia roelofsi Harold アオハナムグリ 遠敷

548 Protaetia orientalis Goly et Porcheron シロテンハナムグリ
鬼ヵ谷

549　Oxycetonia jucunda Faldermann　コアオハナムグリ
永平寺（土肥）　鬼ヵ谷

550　Nipponovalgus angusticollis Waterhouse　ヒラタハナムグリ
遠敷

春期菜の花に多い。

551　Trichius japonicus Janson　トラフハナムグリ
北谷（北谷小学校）　池泉（福田）

552　Trichius succinctus Pallas　ヒメトラハナムグリ　鬼ヵ谷

553　Trichius fasciatus Linnè　鳩ヵ湯

554　Allomyrina dichotomus Linnè　カブトムシ
遠敷　小浜（若高長谷川）　鳩ヵ湯

雄の固体の大小、角の長短、分裂個数等変化が多い。

555　Eophileurus chinensis Foldermann　コカブトムシ
下宇坂（下宇坂小学校）　三方（若校長谷川）

福井県の陸貝について

島崎　治

福井県下全般に分布している陸貝中、最も代表的なものはツルガマイマイである。この貝は敦賀を模式産地として、平坦部のみならず、山間へき地にまで分布している。色のすっきりした上品な貝である。よく「陸に貝がある」というと、教養のある識者の中にも不思議がる人もいるがかたつむりは、でんでんむしとして我々にとって幼い時から親しまれていた筈である。陸産貝類の採集は特に渋味のある仕事ではあるが、海のものを採集するのに比べて徹底的に自分で調査することが出来るので興味の深いものである。昭和八年の大演習当時の採集会で発見され、福井県のイツマデガイとして知られるようになったエチゼンイツマデガイは、敦賀以北の越前海岸ではいつでも採集することの出来る陸貝である。この貝は現在陸に住んでいるが、先祖は海に住んで居った貝であったと考えられている。即ち陸の貝は海から陸に上って住むようになったものであると説明するのに好都合の貝である。今でも海岸の極めて海に近いじめじめした処に住んでいる貝である。更に興味の深いものは、海から日野川にそってさかのぼって来たと考えられるフクイイツマデガイがある。これは現在南条郡の神山で採集される陸貝で、下等な肺を有するようにま